

シャジクモ科

チャボフラスコモ、トガリフラスコモ

Nitella acuminata A. Braun ex Wallman

兵庫県ランク… B

環境省ランク… CR

■ 県内分布

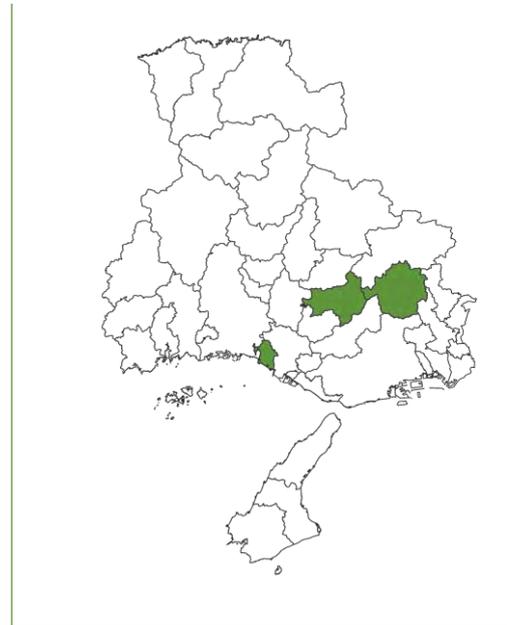
三田市、高砂市、加東市

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊	○	特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

—

■ 保護上の留意点

圃場整備等の際に注意を要する。



写真提供: 佐藤裕司

■ 種の概要

雌雄同株。藻体は20-70cm、主軸(茎)の太さは600-900 μ m、節間細胞の長さは小枝(輪生枝)の1-1.5倍。小枝は一回分枝、その第1分射枝は小枝全長の3/4-5/6を占める。小枝が1回しか分枝しないので、シャジクモ属と間違ふことがある。生殖器をつける枝は形態的には普通の小枝と同じであるが、小形で集まっている。最終枝は1細胞で特徴的な尖り方をする。水田または農業用水路に生育する。